

# 水産研究所フィールドワーク

8月18日に、浜島町にある水産研究所でフィールドワークを実施しました。午前中は調査船「あさま」に乗船し熊野灘沖にてプランクトンの採集や水質調査を行いました。午後は伊勢エビ養殖場の見学やプランクトンの観察を行いました。地元伊勢湾の漁場の豊かさを再確認することができた時間となりました。



(生徒の感想より:一部抜粋)

- ・海水の塩分濃度が水深によって異なるということに興味を持った。
- ・漁師さんが獲ってくるアワビの半分は養殖したものと聞いてとても重要なんだと思った。
- ・三重県沿岸の海では約100種類の魚が獲れて、隣の愛知県に比べるととてもいろんな種類の魚がいることを初めて知りました。
- ・海水を顕微鏡で見ると思ったよりもたくさんの生物がいて驚きました。伊勢エビはクモのような形の幼生からエビの形になるまで思ったより時間がかかるんだなと思いました。
- ・実際にあさまから見ると、同じ海でも深さが浅い海と深い海では透明度や水の色が全然違って見えて驚きました。